

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)	良く なっている	コンビニ（販売 促進担当）	販売量の動き	・販売量が、過去にないほど非常によい実績をあげている。量販店が前年比111.2%、ローカルスーパーが同比114.7%、コンビニエンスストアが同比105.5%となっており、とりわけ食パン、菓子パンが好調である。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	単価の動き	・3月まではやや悪かったが、4月に入り来客数が増加し、客単価もアップしている。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・客数は変わらないが客単価が少し上向いており、全体の販売高が上がっている。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・暖かくなったせいもあり、商店街での滞留時間が少し長くなり、飲食店や日用雑貨、衣料品店への出入りが多くみられた。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・年度初頭であるため名刺、ゴム印、名札、合鍵等の必要物が多く、売上は上昇傾向である。
		一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	お客様の様子	・ここ数日は魚も多く、少し活気が出てきた。魚価は安い、うまく売れば利益も出やすい。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・4月は行事が少なく、入学式の花もなかったため、例年通りの売上である。
		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・全店催事は、開催初日と金曜日～日曜日、祝日の来店客数が増加し、来店客数が回復している。レジ客数と売上金額も6か月、12か月平均で上昇しており、買上げ単価も上昇の兆しがある。
		百貨店（営業担 当）	それ以外	・インバウンドと富裕層の動きが非常に好調で、特に中国からの来店がかなり増えている。今月の売上に占める割合は2～3%になる。既存顧客についてはまだまだ、特にボリューム層である主婦層の動きが鈍い。
		百貨店（企画）	販売量の動き	・売上は、昨年を上回って推移している。
		百貨店（売場担 当）	競争相手の様子	・前年同月比を見ると4月は良いが、3～4月の2か月間を足すと、他店舗に比べてあまり良くない。入店客数は、93.8%となっている。客単価は上がっているが入店客数が少なく、購買率は上がっているが買上点数が少ないという状況である。特に伸び率が低いのは紳士服である。
		百貨店（経営企 画担当）	お客様の様子	・先日、プレミアム付商品券の販売があったが、予想を大きく上回る客数であった。売上への直接的な効果はまだ見られないが、先月の売上は好調で、今月以降も景況の回復が期待できる。
		百貨店（営業統 括）	お客様の様子	・昨年、消費税増税後に買い控えが起きた化粧品などの売上が、大きく伸長している。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・売上目標を達成できるようになり、一昨年と比較すると、状況はやや良くなっている。
		スーパー（統括 者）	販売量の動き	・売上が前年同月比より若干、良くなりつつある。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・客数、客単価ともに上昇しており、在庫の発注を増やした。
		家電量販店（広 報・IR担当）	販売量の動き	・直近の数値は、前年超えで推移している。
		その他専門店 〔コーヒー豆〕 （経営者）	お客様の様子	・4月に入り、新規顧客の来店が増えた。異動等で他県から引越してきた人が中心である。売上は昨年から比べて微増している。
		その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格は、やや上げ基調からやや下げ基調となった。客からは、4月に昇給があったという話を聞く。中小企業はこれからという話も聞いたが、期待している様子である。
		その他小売の動 向を把握できる 者〔土産卸売〕 （従業員）	販売量の動き	・売上金額の前年比が3月まではかなり悪かったが、今月から改善の兆しがみえる。
観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・ここ数か月、宿泊・レストラン・宴会ともに順調で、計画も確実に上回っている。		
都市型ホテル （販売担当）	販売量の動き	・特別な要因があるわけではないが、宴席、婚礼、宿泊とともに前年に対してかなり良い数字である。		
都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・市内中心部に大型施設が相次いで開業したことで、今まで郊外に流れていた客が中心部に流れてきている。		

	都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・インバウンドの販売量が、毎月増えており、いまでは約2割を占めるようになった。インバウンドは個人旅行が多く、単価を押し上げており、国内の客単価も上がっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昨年の4月と比べて、海外からの観光客が増え、催し物も充実した。歓送迎会も多く、売上増加に繋がっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は大きな駅ビルとデパートができた関係で客の流れが大変良く、予約も稼働も良い。しばらくは続きそう。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・メイン顧客である官公庁に補正予算があり、受注が増えている。
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・来店者数が少なく、購入も増えない。消費を逃している様子が強く、非常に厳しい。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・駅ビルや美術館がオープンして、商店街は人通りが多くなっているが、なかなか売上に結びついていないのが現状である。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・食料品をはじめとする生活必需品の値上げにより、必要な物以外は買わないという慎重な消費行動は変わらない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・ゴールデンウィークを目の前にして、帰省する人、温泉や海外旅行する人などが多くなる。そのためかなりの費用が必要となる。
	一般小売店 [茶](販売・事務)	来客数の動き	・ここ数か月の来客数は例年通り落ち着いているが、金額は大きく減少している。消費税増税は今もまだ影響している。高額な贈答品が売れて、例年の売上に達するという状態である。
	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・販売額は、一昨年前と比較すると減少しており、まだまだ回復基調にあるとはいえない。
	百貨店(店舗事業計画部)	お客様の様子	・売上は一昨年の同月と比べて、伸びている。消耗品や進物・返礼品、化粧品や雑貨は伸びているものの、強いトレンドがない衣料品は苦戦が続いており、ニーズもまだら模様である。
	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・昨年は消費税増税があったので、前年同月比ではわかりにくい。一昨年に比べると良くはない。ただ「昨年購入していないので」と言って、夏物を購入する客が目立つこともあり、夏物商戦には期待している。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・昨年は消費税増税による買い控えがあったが、その反動で、4月の売上は好調に推移している。食品、衣料品とも110%以上の伸びを示している。
	スーパー(経理担当)	販売量の動き	・日持ちする食材や生鮮食品を中心に、販売量は前年比でやや良いが、前年は消費税増税後の買い控えがあったので、単純に比較はできない。
	スーパー(業務担当)	単価の動き	・生鮮食品は、気温低下傾向により青果の価格が若干上昇しているうえ、生育状態が良くないものが多いため、販売数が伸び悩んでいる。食品全体でも春の新製品の動きは鈍く、単価アップにつながらない。
	コンビニ(経営者)	単価の動き	・客単価が前年に比べて上回る状況が続いている。通常、ほとんどのお客様が目的買いだが、ついで買いをする方が増えている。しかし客数の減りが激しく、結果的に売上はダウンしている。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・新入生、新社会人が客数増加につながることを期待したが、前年並みの客数で客単価も増えず、売上の鈍化に歯止めをかけることができなかった。厳しい状況は続いている。
	コンビニ(エリア担当・店長)	販売量の動き	・春に向けて暖かくなってはいるが、客の来店数、客単価も伸び悩んでる。花見シーズンも期間が短く、入人もそんなになかった。
衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・引き続き客の足が悪い。	
衣料品専門店(取締役)	お客様の様子	・春物の実需期だが、寒い日が続いていたので、春物が売れず、売上は伸びていない。ただ、高額所得者による高級品の買い物は堅調である。	
衣料品専門店(総務担当)	来客数の動き	・消費税増税から1年が経過したので、客も慣れて来客数が増えるかと期待したが、そういう兆候は全くみられない。	
家電量販店(店員)	販売量の動き	・4月度は前年比では良いが、景況は3か月前から変わっていない。	
家電量販店(総務担当)	来客数の動き	・売上をけん引する商品が見当たらず、来店客数も減少している。	

	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・来店者数と新車販売台数が、計画通りに推移している。中古車とサービス部門もまずまずの実績。会社全体としては予定している利益が見込める。
	住関連専門店 (経営者)	お客様の様子	・地元で産業祭などのイベントがあると、来客数や売上は一時的に上がるが、その後の客足が悪く、次のイベント開催まで買い控えとなる。
	その他小売 [ショッピングセンター] (広報担当)	来客数の動き	・消費税増税後の買い控えがあった昨年同月を上回っている。消費は堅調ではあるが、想定以上の伸びにはなっていない。
	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	販売量の動き	・ここ数か月は、若干の販売量減をインバウンドで補い、前年実績を超えている状況で、大きな変化はない。
	居酒屋 (経営者)	来客数の動き	・取引先の酒屋や食品卸に聞いても、良くなったという話は聞かない。
	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・選挙の影響もあったのか、4月前半は法人出張が低迷した。4月半以降は回復傾向にある。ゴールデンウィークは、海外がやや前年割れだが、国内やバスの日帰り旅行は前年をやや上回っている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・この地域のタクシー利用客の60~70%は65歳以上の高齢者である。可処分所得が増えるような状況ではなく、今後も客数が増えることはあまり期待できない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・タクシーの利用客はあまり増えていない。
	通信会社 (企画担当)	販売量の動き	・季節要因を除くと、販売量に大きな変化がみられない。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・コストダウンのための契約プラン変更の相談が多く、アップセルに繋がる商談件数が増えない。
	ゴルフ場 (従業員)	来客数の動き	・海外、特に台湾、韓国、香港からの客が増えつつあり、ゴルフだけでなく、買い物もしている。ただ、地元客は昨年より減っている。収入面が厳しく、娯楽に使えるお金が少ないようだ。
	競輪場 (職員)	販売量の動き	・競輪業界の売上総額が伸びている。
	競馬場 (職員)	販売量の動き	・今年に入ってからは、ずっと前年比を上回っている。
やや悪くなっている	スーパー (店長)	競争相手の様子	・大型店やモールの出店が続き、厳しい状況である。
	衣料品専門店 (店員)	販売量の動き	・お呼ばれ用のオケージョンスーツやドレスが売れなくなっている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・3月までに決算前の追い込み受注があったので、今月は受注が伸びない。
	高級レストラン (専務)	来客数の動き	・歓送迎会も一通り終わり、宴会は少なくなった。北陸新幹線の開通で、県外からの旅行者は、北陸に行ってしまったようだ。
	高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・先月と比較すると来客数が少ない。
	その他サービスの動向を把握できる者 [介護サービス] (管理担当)	競争相手の様子	・4月からの介護報酬マイナス改定により、売上が減少している。厳しい環境のせいか、同業他社が事業を止める話も聞く。
	住宅販売会社 (従業員)	単価の動き	・分譲住宅は建材コストが急騰しており、販売価格を上げせざるを得ず、販売減に繋がっている。消費税増税以降、建材の価格は上がり続けているので、今後コストをどう分散させるかが課題である。
悪くなっている	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・客が年々減っている。客の高齢化が進んでるようだ。
	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・4月は選挙が2回もあった。当店のように会社利用が多い飲食店は、選挙期間中は客足が遠退いてしまうので、非常に悪い状況である。
企業動向関連 (九州)	良くなっている やや良くなっている	-	-
	農林水産業 (営業)	受注量や販売量の動き	・国産品の需要が高まっている。
	繊維工業 (営業担当)	取引先の様子	・通常は閑散期だが、今年は職出しが多い。日本の生産工場が減ってしまい、取引メーカーから大事にされているようだ。
	家具製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・例年2~3月の需要期の反動で落ち込む4月であるが、例年の売上指数95%に比較して113%と伸びた。

	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・残業や休日出勤などで対応しなければ受注に間に合わないほど、徐々に受注が重なってきている。この状況は、2～3か月は続くとみている。顧客企業の今後の生産状況が詰まっているようだ。
	電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・例年のような期初の落ち込みが少ない。取引先も繁忙の様子だ。
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客の発注量が増えている。
	通信業（経理担当）	それ以外	・マイナンバー制の導入にともなうシステム対応によって受注量が前年比増となり、賃金も上がった。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・力強さにはやや欠けるが、自動車販売が若干持ち直してきている他、住宅建設は下げ止まりつつある。また、求人数が増加しており、給与引上げに踏み切る企業が見られ始めるなど、雇用・所得環境は改善してきている。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・企業活動においてはそう変化はないが、個人については給与が上がったなどの声が若干聞かれるので、景気は上向いている。
	経営コンサルタント（社員）	受注価格や販売価格の動き	・売上が前年同月比110%で、客数も増えている。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先の多くが人手不足で、積極的に採用をしている。
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・工作機械の取引が活発化してきた。補助金活用も含めて更新需要が高まっている。
変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は若干、計画を下回りそうである。特にスーパー、居酒屋からの引き合いが弱くなってきた。ただ、ハム・ソーセージ、冷食は相変わらず引き合いが強く、原料不足もあり、注文に対応できない状況にある。
	食料品製造業（経営者）	それ以外	・売上は厳しいが、小規模事業者補助金などを活用しながら、なんとか経営している。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注価格も数量もほとんど変わっていない。燃料のガスが安くなった点だけはプラス材料だが、その他の原材料の値上げがあり、収支としては変わらない。
	金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・例年上期は受注、売上ともに低調であり、その流れには変わりはない。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・機械設備及び機械加工部品の受注量が伸び悩み、頭打ち状態である。
	その他製造業（産業廃物処理業）	取引先の様子	・顧客の製造が伸び悩んでいる様子である。
	輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・特に大きな変動はない。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・食料品、衣料品共に荷動きが非常に悪い状態が続いている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・依然として、設備投資案件が緩やかに続いている。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・消費税増税以降、小売業はどこも売上が低調な状況が続いている。現状は良くもなく、悪くもない。
	金融業（営業）	取引先の様子	・3か月前と変わらない。製造業の生産高は数年前に比べて高い水準をキープしているが、人員を増やして増産するというレベルではない。設備投資は補助金もあり活発になっている。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・先月セミナーを企画したが、参加者が少なかった。時期の問題もあるかもしれないが、新しいことに取り組む意欲が弱いようだ。
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・3か月前と比較すると、目立って変化はない。消費税増税の影響が大きかったため、前年比ではとても良くなっているが、全体としての動きはほぼ変わっていない。
	やや悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
建設業（社員）		受注量や販売量の動き	・民間も官公庁も新年度の発注はまだ先であり、官公庁の早期発注を望んでいる。
その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）		取引先の様子	・自治体が「地域創生」の人口ビジョン、総合戦略を策定するために、調査会社に委託発注を行っている。規模が大きいコンサルタントが受注する傾向にあり、中小のコンサルタントは受注が難しい。他の発注が少ないため、景気が悪くなっている。

	悪く なっている			
雇用 関連	良 く な っ て い る	-	-	-
(九州)	やや良 く な っ て い る	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・直接雇用の動きが活発になっている。登録スタッフ へ仕事案内をするが、仕事が決まったという人が多 くなった。また、紹介予定派遣の注文も増えている。
		新聞社 [求人広 告] (担当者)	周辺企業の様子	・引き続き中国・韓国からの観光客も多く、商業施設 の求人も多い。九州各地での駅商業施設の開業も、い い効果を生んでいる。
		職業安定所 (職 員)	採用者数の動き	・景気回復とともに正社員での就職を希望する人が増 えており、新規求人数の増加に合わせて、正社員の就 職件数も増加している。
		職業安定所 (職 業紹介)	求人数の動き	・新規求人数が増加傾向にある。
		学校 [大学] (就職支援業 務)	求職者数の動き	・4月に入って各企業が自社で説明会を開催する機会 が増え、学生との接触機会の拡大に注力している。
変わらない		人材派遣会社 (営業)	求人数の動き	・景況感は首都圏ほどではないが、求人確保は大変困 難である。また、直接雇用の求人は増加傾向にある。
		新聞社 [求人広 告] (担当者)	それ以外	・周囲に好調な業種を聞かない。
		職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・求人数は前年同月比11.1%減となっている。製造 業、医療・福祉で増加し、建設業、運輸業、郵便業で 減少した。
		職業安定所 (職 員)	求人数の動き	・新規求人数は12月～2月の3か月間の総数でみる と、昨年は10527件で、今年は10711件と微増である。 一方、新規求職者は平成25年度比で3か月で696人減 となった。
		民間職業紹介機 関 (社員)	求人数の動き	・求人依頼はあるが、新規依頼数は伸びていない。
		民間職業紹介機 関 (支店長)	求人数の動き	・求人数は前年同期比でほぼ横ばいである。
		学校 [専門学 校] (就職担 当)	求人数の動き	・昨年度に引き続き情報分野・建築分野の求人が増加 している。両分野共に前年同月比110%となってい る。
やや悪 く な っ て い る	求人情報誌製 作 会 社 (編 集 者)	求人数の動き	・求人取扱件数が前年を下回っている。取扱の中心が 地元のパート職で、採用難になっている。取引先の飲 食店で労務倒産も出てきた。	
悪 く な っ て い る	-	-	-	-